

審議事項①

令和5年度当初予算編成方針について

令和5年度当初予算編成方針は、別紙に定めるところによる。

令和 5 年度 当初予算編成方針（案）

1 国の動向及び青森市の状況

- (1) 国では、現在、平成 30 年 11 月に中央教育審議会が取りまとめた「2040 年に向けた高等教育のグランドデザイン」に基づき、各種高等教育関連施策に取り組んでいる。

令和 5 年度においては、「経済財政運営と改革の基本方針 2022（令和 4 年 6 月 7 日閣議決定）等を踏まえ、内閣府において、産業創生・雇用創出を中心とした地方創生と、地方創生に積極的な役割を果たすための組織的な大学改革に一体的に取り組む地方公共団体を支援することとしているほか、文部科学省において、グローバル社会で我が国の未来を担う人材の育成として、コロナ禍で停滞した日本人学生の海外留学を活性化させるための支援の強化等に取り組むこととしている。

- (2) 本法人の設立団体である青森市では、令和 5 年度予算編成方針において、歳入の根幹となる市税収入の大きな伸びは期待できないことから、国や県の交付金の活用など歳入確保に努めるとともに、歳出全般についても不断の見直しにより財源捻出を図っていかねばならないとしている。

令和 5 年度予算については、青森市のまちづくりの最上位計画である「青森市総合計画前期基本計画」の 6 つの基本政策のもと、青森市の緊急課題である人口減少に立ち向かう各種施策については停滞することなく強力に推進するため、より効果的な事業への予算の重点化を図っていくこととしている。

2 本学の財政環境と令和 5 年度予算編成の基本方針

- (1) 本学ではこれまで、収入について、授業料・入学金・検定料の着実な確保や、科学研究費補助金をはじめとする国や民間財団等からの外部資金の積極的獲得、交流施設・体育施設等の施設貸出の利用促進による使用料の増加など、自己収入の確保に努めてきた。

また、支出については、経常費用に対して効率化係数 1% を乗じた金額を削減する一方、予算編成方針で定めた重点事業に優先的に予算を配分した上で全体的な調整を行いながら予算編成を行うとともに、執行段階においても支出内容の精査や業務改善・事務事業の効率化に努めることで、健全経営の維持を図ってきたところである。

- (2) このような中、本学では、新型コロナウイルス感染症対策の徹底により、学生の学修機会及び教育の質の保証を確保しつつ、コロナ禍により縮小・中止していた取組の検討・実施を進めるとともに、物品購入等に係る物価高騰対策を行い、第 3 期中期計画に基づき、本学に求められている使命を果たすため、教育・研究の改善や志願者の確保、就職率の向上、地域貢献・広域連携の充実を図り、青森圏域連携中枢都市圏の中心

市の都市機能の一つとして、存在意義を一層高めていくとともに、業務運営の改善を行うことで、自律的・効果的な大学運営に取り組んでいく必要がある。

このため、令和5年度の予算は、引き続き、収入について授業料をはじめとする自己収入の拡大に努めるとともに、支出については要求基準を設定して支出全般の見直しを図りつつ、次に掲げる重点事業に所要の財源を配分しながら編成することとする。

3 令和5年度重点事業

(1) 新型コロナウイルス感染症対策関連事業

新型コロナウイルス感染防止対策を徹底するとともに、オンライン授業システムなどポスト・コロナを見据えながら学生の修学環境の維持・改善を図るための経費

(2) 教育・研究関連事業

学部教育、地域及び海外との教育機会の充実を図るためコロナ禍により縮小・中止していた取組の検討・実施を進めるほか、教員の研究成果をホームページ及びマスメディア等の活用により学内外へ積極的に情報発信するなど、教育・研究の改善を図るための経費

(3) 志願者確保関連事業

入試関連を中心としたデータの分析による Web 活用も含めた効果的な広報活動、入試に係る相談体制の充実に加え、特に大学院における志願者確保に向け、広報活動の拡充、教育内容等の検証を行うなど、志願者の確保を図るための経費

(4) 就職率向上関連事業

県内企業の情報提供を含むオンライン求人情報システムを活用した学生への情報提供体制の推進など、就職率の向上を図るための経費

(5) 地域貢献・広域連携関連事業

青森圏域連携中枢都市圏をはじめとする広域連携への参画、起業・創業支援、公開講座開催による研究成果の公表など、地域貢献・広域連携の充実を図るための経費

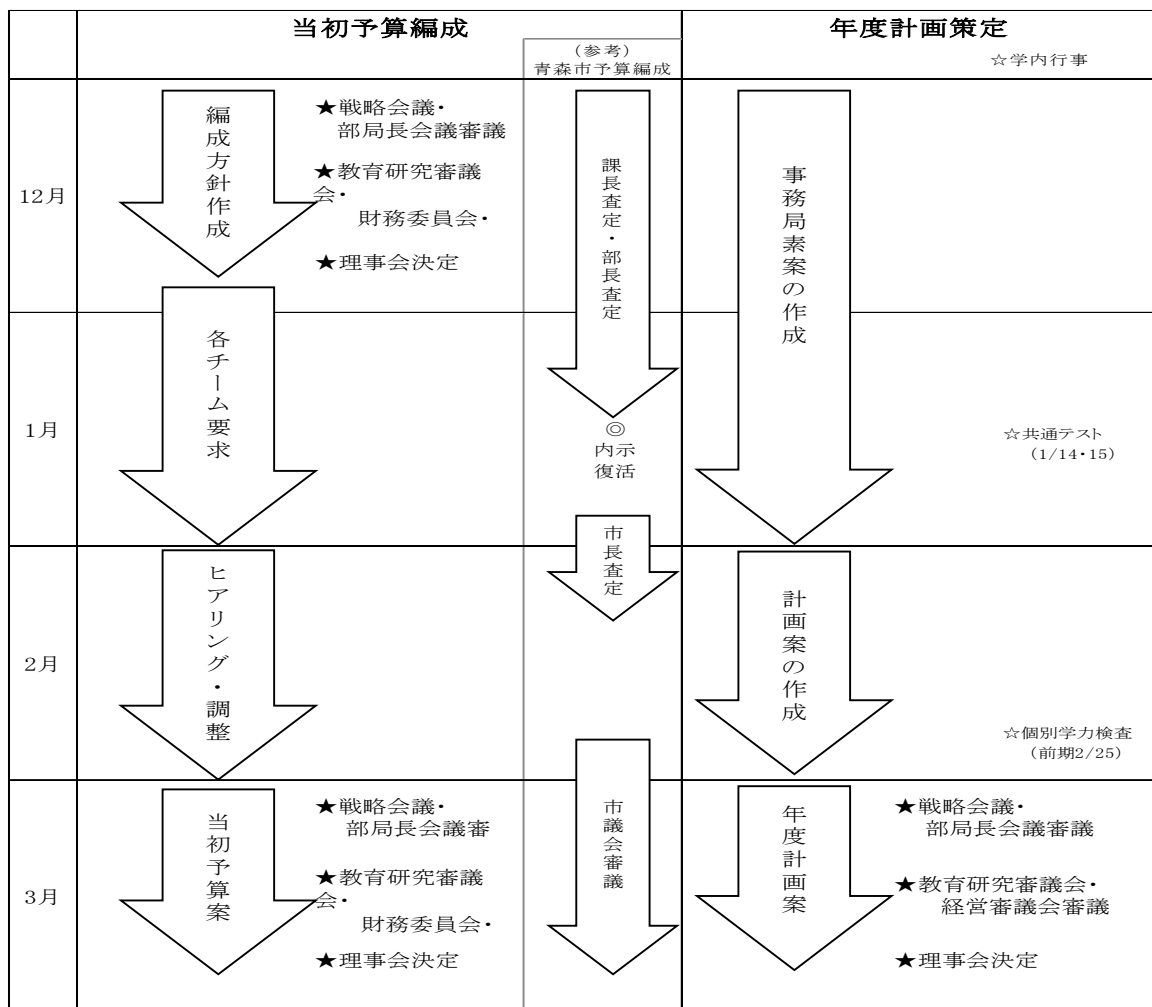
(6) 業務運営等関連事業

外部研究資金や国際芸術センター青森等の自己収入の獲得に向けた取組など、業務運営の改善等により、自律的・効果的な大学運営の推進を図るための経費

4 各事業の区分ごとの要求基準

- ① 人件費関連事業（役員、教職員人件費等） … 所要見込額
- ② 管理費関連事業（一般管理費、施設管理費等） … 前年度予算額の1%削減
＜管理費のうち精算対象経費は除く。＞
- ③ 学生関連事業（学部教育実習事業費等） … 前年度予算額の1%削減
＜教育経費のうち人件費及び特定財源事業等を除く事業＞
- ④ 研究・教育支援関連事業（個人研究費等） … 前年度予算額の1%削減
＜研究費及び教育研究支援経費のうち特定財源事業等を除く事業＞
- ⑤ 特定財源事業（国及び各種団体等からの助成金） … 所要見込額
＜廃止・前年度限りの助成金等は除く。＞
- ⑥ 重点事業に要する経費 … 所要見込額
- ⑦ 特別運営費事業及び大規模修繕事業 … 所要見込額

5 当初予算編成スケジュール



1 国の動向及び青森市の状況

(1) 国では、現在、平成30年11月に中央教育審議会が取りまとめた「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」に基づき、各種高等教育関連施策に取り組んでいる。

令和4年度においては、内閣府で地方創生に資する大学改革施策を引き続き実施していくこととしているほか、文部科学省では、ポストコロナ期における新しい高等教育の構築のため、「経済財政運営と改革の基本方針2021」（令和3年6月18日閣議決定）等を踏まえ、「学生の学びの確保」、「教育の質向上」、「教育研究基盤の強化」を一体的に推進していくとともに、高等教育機関の多様なミッションの実現として、大学からの社会変革を目指した、基盤的経費の充実や客観的指標に基づくメリハリある配分による改革の徹底やポストコロナ期における高度専門人材の育成等の推進に取り組むこととしている。

(2) 本法人の設立団体である青森市では、令和4年度予算編成方針において、国が示す経済展望などから、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ税収の一定程度の回復を見込んでいるものの、歳入の根幹となる市税収入の大きな伸びは期待できないことから、国や県の交付金の活用など歳入確保に努めるとともに、歳出全般についても不断の見直しにより財源捻出を図っていかねばならないとしている。

新型コロナウイルス感染症による地域経済への影響の長期化により、地方財政を取り巻く環境は厳しさを増している中、将来にわたって安定した行政サービスを提供していくためには、歳出全般について不断の見直しを行うとともに、市経済の発展と雇用の創出による税収確保に努め、「青森市財政プラン（2019～2023）」における令和5年度末の基金残高50億円の確保や市債残高の縮減の達成という目標を堅持し、都市間競争力の基盤となる、持続可能な財政運営の確立を図っていくこととしている。

2 本学の財政環境と令和4年度予算編成の基本方針

(1) 本学ではこれまで、収入について、授業料・入学金・検定料の着実な確保や、科学研究費補助金をはじめとする国や民間財団等からの外部資金の積極的獲得、交流施設・体育施設等の施設貸出の利用促進による使用料の増加など、自己収入の確保に努めてきた。

また、支出については、経常費用に対して効率化係数1%を乗じた金額を削減する一方、予算編成方針で定めた重点事業に優先的に予算を配分した上で全体的な調整を行いながら予算編成を行うとともに、執行段階においても支出内容の精査や業務改善・事務事業の効率化に努めることで、健全経営の維持を図ってきたところである。

(2) このような中、本学では、喫緊課題である新型コロナウイルス感染症対策の徹底を継続し、学生の学修機会及び教育の質の保証を確保しつつ、_____、第3期中期計画に基づき、本学に求められている使命を果たすため、教育・研究の改善や志願者の確保、就職率の向上、地域貢献・広域連携の充実を図り、青森圏域連携中枢都市圏の中心市の都市機能の一つとして、存在意義を一層高めていくとともに、業務運営の改善を行うことで、自律的・効果的な大学運営に取り組んでいく必要がある。

このため、令和4年度の予算は、引き続き、収入について授業料をはじめとする自己収入の拡大に努めるとともに、支出については要求基準を設定して支出全般の見直しを図りつつ、次に掲げる重点事業に所要の財源を配分しながら編成することとする。

1 国の動向及び青森市の状況

(1) 国では、現在、平成30年11月に中央教育審議会が取りまとめた「2040年に向けた高等教育のグランドデザイン」に基づき、各種高等教育関連施策に取り組んでいる。

令和5年度においては、「経済財政運営と改革の基本方針2022（令和4年6月7日閣議決定）等を踏まえ、内閣府において、産業創生・雇用創出を中心とした地方創生と、地方創生に積極的な役割を果たすための組織的な大学改革に一体的に取り組む地方公共団体を支援することとしているほか、文部科学省において、グローバル社会で我が国の未来を担う人材の育成として、コロナ禍で停滞した日本人学生の海外留学を活性化させるための支援の強化等に取り組むこととしている。

(2) 本法人の設立団体である青森市では、令和5年度予算編成方針において、国が示す経済展望などから、新型コロナウイルス感染症の影響により落ち込んだ税収の一定程度の回復を見込んでいるものの、歳入の根幹となる市税収入の大きな伸びは期待できないことから、国や県の交付金の活用など歳入確保に努めるとともに、歳出全般についても不断の見直しにより財源捻出を図っていかねばならないとしている。

令和5年度予算については、青森市のまちづくりの最上位計画である「青森市総合計画前期基本計画」の6つの基本政策のもと、青森市の緊急課題である人口減少に立ち向かう各種施策については停滞することなく強力に推進するため、より効果的な事業への予算の重点化を図っていくこととしている。

2 本学の財政環境と令和5年度予算編成の基本方針

(1) 本学ではこれまで、収入について、授業料・入学金・検定料の着実な確保や、科学研究費補助金をはじめとする国や民間財団等からの外部資金の積極的獲得、交流施設・体育施設等の施設貸出の利用促進による使用料の増加など、自己収入の確保に努めてきた。

また、支出については、経常費用に対して効率化係数1%を乗じた金額を削減する一方、予算編成方針で定めた重点事業に優先的に予算を配分した上で全体的な調整を行いながら予算編成を行うとともに、執行段階においても支出内容の精査や業務改善・事務事業の効率化に努めることで、健全経営の維持を図ってきたところである。

(2) このような中、本学では、新型コロナウイルス感染症対策の徹底により、学生の学修機会及び教育の質の保証を確保しつつ、コロナ禍により縮小・中止していた取組の検討・実施を進めるとともに、物品購入等に係る物価高騰対策を行い、第3期中期計画に基づき、本学に求められている使命を果たすため、教育・研究の改善や志願者の確保、就職率の向上、地域貢献・広域連携の充実を図り、青森圏域連携中枢都市圏の中心市の都市機能の一つとして、存在意義を一層高めていくとともに、業務運営の改善を行うことで、自律的・効果的な大学運営に取り組んでいく必要がある。

このため、令和5年度の予算は、引き続き、収入について授業料をはじめとする自己収入の拡大に努めるとともに、支出については要求基準を設定して支出全般の見直しを図りつつ、次に掲げる重点事業に所要の財源を配分しながら編成することとする。

文言変更

内閣府「令和5年度予算概要要求の概要」、文部科学省「高等教育局主要事項-令和5年度概算要求-から抜粋

文言変更

青森市令和5年度予算編成方針（令和4年10月公表）から抜粋

変更なし

文言変更

新型コロナ対策・物価高騰対策を修正

3 令和4年度重点事業

(1) 新型コロナウイルス感染症対策関連事業

新型コロナウイルス感染防止対策を徹底するとともに、オンライン授業システムなどポスト・コロナを見据えながら学生の修学環境の維持・改善を図るための経費

(2) 教育・研究関連事業

学部教育、地域及び海外との教育機会の充実を図るため ICTの活用を促進する ほか、教員の研究成果をホームページ及びマスメディア等の活用により学内外へ積極的に情報発信するなど、教育・研究の改善を図るための経費

(3) 志願者確保関連事業

入試関連を中心としたデータの分析による Web 活用も含めた効果的な広報活動、入試に係る相談体制の充実に加え、特に大学院における志願者確保に向け、広報活動の拡充、教育内容等の検証を行うなど、志願者の確保を図るための経費

(4) 就職率向上関連事業

県内企業の情報提供を含むオンライン求人情報システムを活用した学生への情報提供体制の推進など、就職率の向上を図るための経費

(5) 地域貢献・広域連携関連事業

青森圏域連携中枢都市圏をはじめとする広域連携への参画、起業・創業支援、公開講座開催による研究成果の公表など、地域貢献・広域連携の充実を図るための経費

(6) 業務運営等関連事業

外部研究資金や国際芸術センター青森等の自己収入の獲得に向けた取組など、業務運営の改善等により、自律的・効果的な大学運営の推進を図るための経費

4 各事業の区分ごとの要求基準

- ① 人件費関連事業（役員、教職員人件費等） … 所要見込額
- ② 管理費関連事業（一般管理費、施設管理費等） … 前年度予算額の1%削減
＜管理費のうち精算対象経費は除く＞
- ③ 学生関連事業（学部教育実習事業費等） … 前年度予算額の1%削減
＜教育経費のうち人件費、特定財源事業等を除く事業＞
- ④ 研究・教育支援関連事業（個人研究費等） … 前年度予算額の1%削減
＜研究費及び教育研究支援経費のうち特定財源事業等を除く事業＞
- ⑤ 特定財源事業（国及び各種団体からの助成金等） … 所要見込額
＜廃止・前年度限りの助成金等は除く＞
- ⑥ 重点事業に要する経費 … 所要見込額
- ⑦ 特別運営費事業及び大規模修繕事業 … 所要見込額

3 令和5年度重点事業

(1) 新型コロナウイルス感染症対策関連事業

新型コロナウイルス感染防止対策を徹底するとともに、オンライン授業システムなどポスト・コロナを見据えながら学生の修学環境の維持・改善を図るための経費

(2) 教育・研究関連事業

学部教育、地域及び海外との教育機会の充実を図るため コロナ禍により縮小・中止していた取組の検討・実施を進める ほか、教員の研究成果をホームページ及びマスメディア等の活用により学内外へ積極的に情報発信するなど、教育・研究の改善を図るための経費

(3) 志願者確保関連事業

入試関連を中心としたデータの分析による Web 活用も含めた効果的な広報活動、入試に係る相談体制の充実に加え、特に大学院における志願者確保に向け、広報活動の拡充、教育内容等の検証を行うなど、志願者の確保を図るための経費

(4) 就職率向上関連事業

県内企業の情報提供を含むオンライン求人情報システムを活用した学生への情報提供体制の推進など、就職率の向上を図るための経費

(5) 地域貢献・広域連携関連事業

青森圏域連携中枢都市圏をはじめとする広域連携への参画、起業・創業支援、公開講座開催による研究成果の公表など、地域貢献・広域連携の充実を図るための経費

(6) 業務運営等関連事業

外部研究資金や国際芸術センター青森等の自己収入の獲得に向けた取組など、業務運営の改善等により、自律的・効果的な大学運営の推進を図るための経費

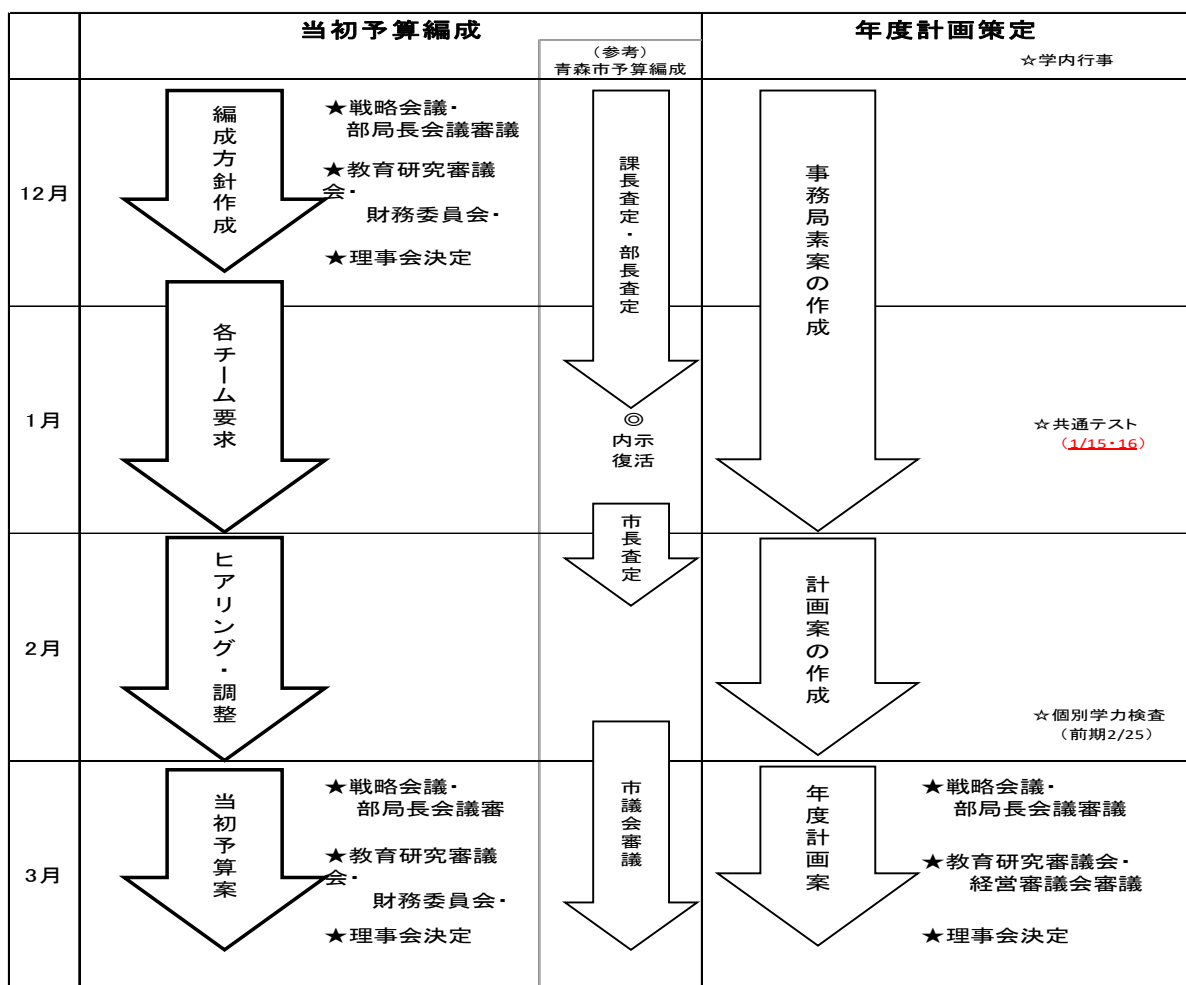
4 各事業の区分ごとの要求基準

- ① 人件費関連事業（役員、教職員人件費等） … 所要見込額
- ② 管理費関連事業（一般管理費、施設管理費等） … 前年度予算額の1%削減
＜管理費のうち精算対象経費は除く＞
- ③ 学生関連事業（学部教育実習事業費等） … 前年度予算額の1%削減
＜教育経費のうち人件費、特定財源事業等を除く事業＞
- ④ 研究・教育支援関連事業（個人研究費等） … 前年度予算額の1%削減
＜研究費及び教育研究支援経費のうち特定財源事業等を除く事業＞
- ⑤ 特定財源事業（国及び各種団体からの助成金等） … 所要見込額
＜廃止・前年度限りの助成金等は除く＞
- ⑥ 重点事業に要する経費 … 所要見込額
- ⑦ 特別運営費事業及び大規模修繕事業 … 所要見込額

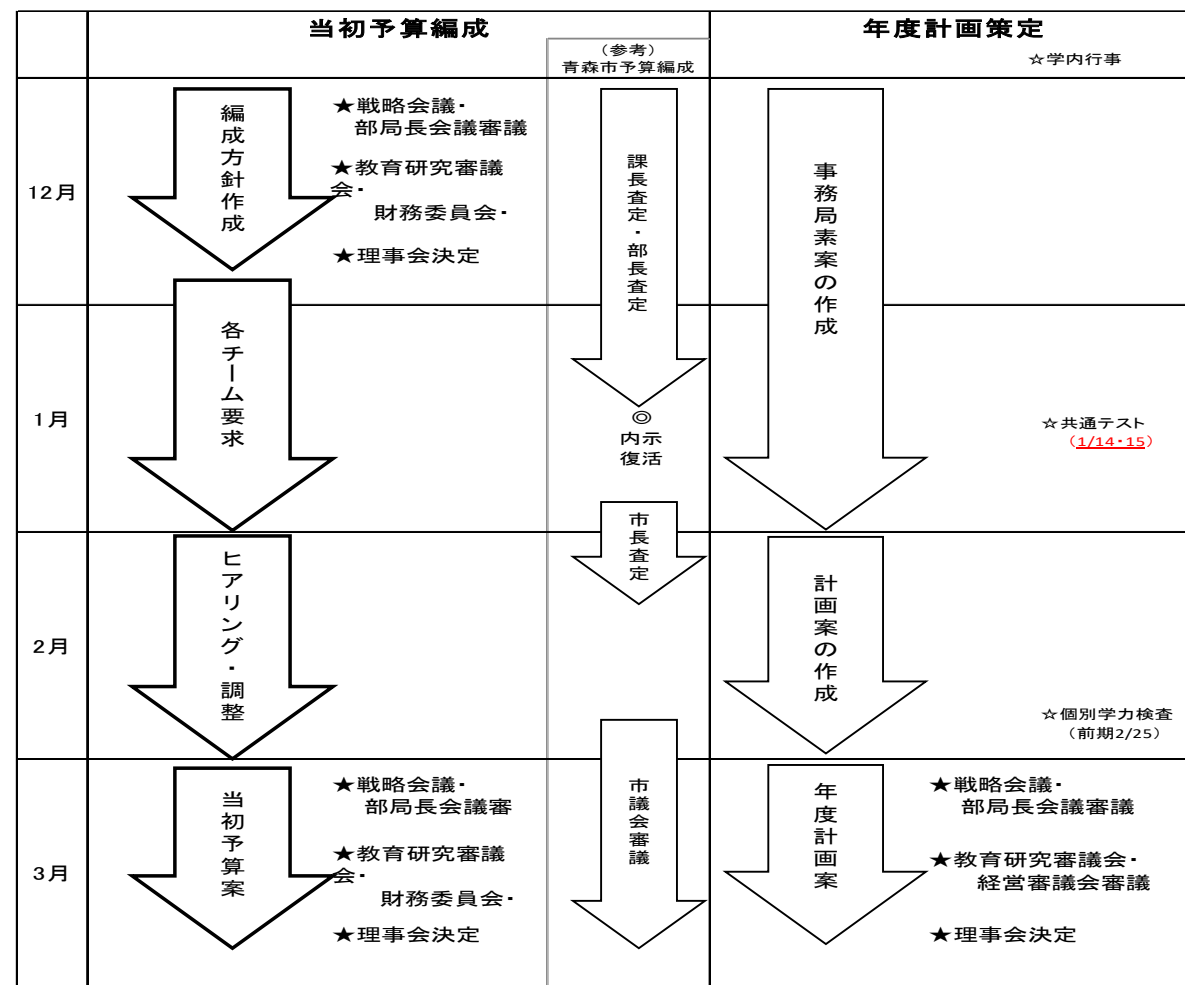
文言変更
コロナ禍により縮小・中止していた取組について、修正

変更なし

5 当初予算編成スケジュール



5 当初予算編成スケジュール



変更なし
共通テストの
日程の時点修
正のみ